

グリーティング

戴きものの桃を食べながら、その甘い香、みずみずしくやわらかな口当たりで贅沢な口福感を味わいました。丁度終戦記念日だったこともあり、平和とはまさにこんな事と改めて思ったことでした。邪気を払い不老長寿の果実として、すでに奈良時代には栽培されていたそうです。桃の花は安産の象徴であることから桃の節句、ひな祭に女の子の健康を願って飾られます。孔子によって伝えられた中国最古の詩集「詩経」には「桃之夭夭、灼灼其華・・・」と桃を主題に嫁ぐ娘のしあわせを祈る詩があります。

ところで、桜の少しあとに中央道の釈迦堂P.A～一宮御坂I.Cあたり一面匂い立つような桃の花で覆われます。まさに桃源郷、日本一の桃の産地、山梨ならではの見事な景色です。春のドライブにいかがですか。 S.K



技工情報

◎ファイバー素材について

ファイバー素材は、比重が小さいにも関わらず、強度や弾性係数が大きいので、比強度（引っ張り強さ/密度）に優れ、軽量かつ高強度の修復物の製作が可能になります。

	ファイバー径 μm	密度 g/cm ³	引張強さ MPa	弾性係数 GPa	比強度 kgf/cm ²	熱膨張係数 × 10 ⁻⁶ /°C
ポリエチレンファイバー	10～15	0.95	2,000～3,400	70～170	2,000～3,500	—
グラスファイバー	9～10	2.5	2,500	70～80	1,000	4.0～4.9
歯冠修復用CR	—	1.6～2.5	50～100	5～20	20～40	16～85
タイプ4金合金	—	17.0	800～1,000	100	50～60	15

表より、タイプ4の金合金に比較して、グラスファイバーで、20倍、ポリエチレンファイバーでは40倍以上の比強度があります。

ファイバー材を応用する利点として

- 1) 金属材料と比較して強度的に劣らず、審美性と操作性に優れている。
- 2) ワックスアップ、鋳造などの操作が不要となる。
- 3) レジンベースの材料であるため、接着性レジンを用いた接着が可能となる。その結果、修復物の保持も確実で、辺縁漏洩の問題も減少する。

・グラスファイバーの特徴

一般的に機械的強度、電気絶縁性、耐熱性に優れている反面、伸びがほとんどないために、脆く屈曲と摩擦に弱い性質がある。無機質のグラスファイバーとレジンとを接着させるためには、シラン化合物による処理が有効となる。